

苫小牧地点におけるCCS実証事業 海洋環境調査(平成28年度春季調査)について

日本CCS調査株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石井正一)は、苫小牧地点におけるCCS(二酸化炭素の回収・貯留)大規模実証試験の一環として、二酸化炭素貯留開始後の貯留地点直上及び周辺海域の状況を把握するため海洋環境調査を、平成28年6月1日から実施します。

本作業は、経済産業省からの委託事業、「平成28年度二酸化炭素削減技術実証試験事業」における現地作業です。

○調査概要

1. 作業概要

苫小牧におけるCCS実証事業では、「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律」の規定に準拠し、CO₂の貯留が計画に従い安全に行われていることを確認するために、苫小牧港港湾区域内において海洋環境調査を行います。

調査地点は、添付図に示す12点を予定しています。今回の作業は春季調査として平成28年6月1日(水)から3日(金)と6月6日(月)から8日(水)の計6日間を予定しています。

海洋環境調査は四季調査として行い、本調査に引き続いて夏季調査(平成28年8~9月)・秋季調査(平成28年11月ごろ)・冬季調査(平成29年2月ごろ)を計画しています。

2. 作業場所

苫小牧港 港湾区域内

3. 作業予定期間

平成28年6月1日~3日、6月6日~8日

(天候や海況により、調査期間を変更する場合があります)

○会社概要

名	称	: 日本CCS調査株式会社
事	業	内 容 : CCS技術の事業化調査及び研究開発諸業務、実証試験
代	表	取 締 役 社 長 : 石 井 正 一
所	在	地 : 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号
U	R	L : http://www.japanccs.com/
資	本	金 : 2億4,250万円
設	立	日 : 平成20年5月26日
株	主	: 電力、石油元売り、エンジニアリング、総合商社、石油開発、鉄鋼、ガス、化学など35社

以 上

【報道関係者からのお問い合わせ】

日本CCS調査株式会社

広報渉外部 広報渉外グループ

担当:金森、花田

TEL:03-6268-7610

FAX:03-6268-7385

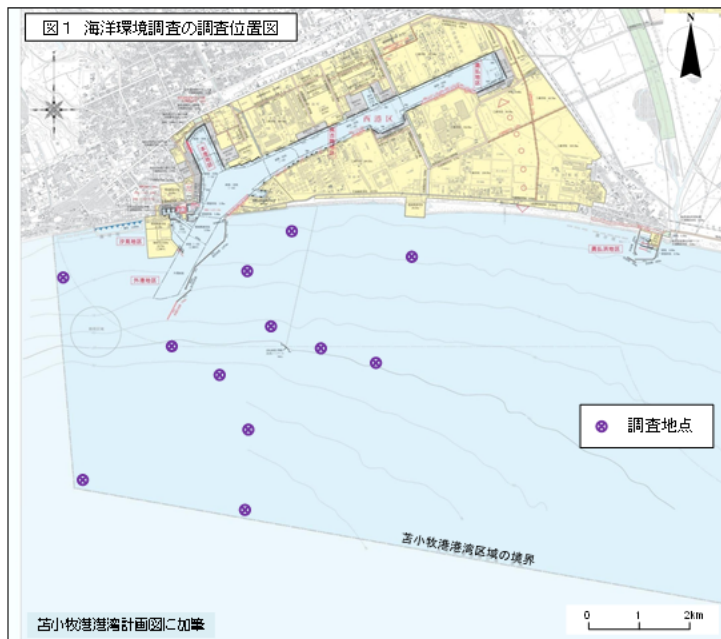
苫小牧地区におけるCCS大規模実証事業：海洋環境調査(春季調査)の実施について (経済産業省委託事業)

1. 概要

苫小牧におけるCCS実証事業では、「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律」の規定に準拠し、CO₂貯留が計画に従い安全に行われていることを確認するために、苫小牧港の港湾区域内において、CO₂貯留対象地点直上および周辺海域の現況を把握するための海洋環境調査を、今年6月より行います。

今回の春季調査は、図1に示す12地点の直径100mの範囲で、海水や海洋生物の調査を実施します。なお、調査結果によっては追加の調査を行う場合があります。

海洋環境調査は四季調査として行い、本調査に引き続いて夏季調査(平成28年8~9月)・秋季調査(平成28年11月ごろ)・冬季調査(平成29年2月ごろ)を計画しています。



2. 調査方法

- ① 流向・流速計により、海水の流れの方向と速さを調査します。
- ② ニスキン採水器で海水を採水し、酸素飽和度・二酸化炭素分圧などを調査します。
- ③ バンドーン型採水器で海水を採水し、植物プランクトンの状況を調査します。また、北原式定量ネットにより動物プランクトンを採捕し、状況を調査します。
- ④ スミス・マッキンタイヤ型採泥器で海底面表層を採泥し、粒度組成などを調査します。
- ⑤ ROV(自走式水中カメラ)により、海底面および底生生物を撮影します。
- ⑥ 調査は当社の監督のもと、(公財)海洋生物環境研究所が現場調査作業を実施します。



調査船



ニスキン採水器



バンドーン型採水器



北原式定量ネット



スミス・マッキンタイヤ型採泥器



ROV

3. 春季調査のスケジュール(予定)

作業項目	平成28(2016)年6月													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
流向・流速、海水、プランクトン調査	■													
海底面表層調査		■	■											
底生生物調査						■	■	■						
予備日				■	■				■	■	■	■	■	■

* 調査の作業時間は、原則として8:00~17:00の間で、夜間作業は行いません。
* 天候や海況によって、多少調査期間の変更があり得ます。